

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
旅行実務論	旅行実務における JR 計算基礎力の養成	手塚 郁子	1 年次前期
講義の目的	JR 旅客営業規則に従った基本的なルールや複雑な運賃料金の計算方法を学び、国内の鉄道旅行において必要となる「運賃・料金」の正しい見積書を打ち出すことが出来るように学習します。さらに国家資格である国内旅行業務取扱管理者試験における「国内旅行実務」の科目の学習の一助となることを目的に学びます。		
到達目標	国家試験に出題されるレベルの JR 運賃料金計算ができるようになることを目標に定めて、旅行業務取扱管理者試験合格を目指します		
内容講義	JR の規則は複雑ですから、個々のルールをしっかりと覚え、面倒がらずに計算式をたてて積み重ねていかないと一つの問題を解くことができません。繰り返し問題を解きながら解説をしていきます。欠席をすると理解が難しくなります。毎回出席することを望みます。		
講義スケジュール	第 1 講	講義科目ガイダンス	JR 旅客営業規則 運賃と料金 旅客の区分
	第 2 講	JR 運賃計算の原則 (幹線と地方交通線・JR 時刻表)	
	第 3 講	JR 運賃計算の原則 (1.2 回目の復習・本州三社・有効期間と途中下車)	
	第 4 講	JR 運賃計算の原則 (本州三社・北海道)	
	第 5 講	JR 運賃計算の原則 (3.4 回目の復習・四国・九州)	
	第 6 講	JR 運賃計算の原則 (本州～北海道・四国・九州)	
	第 7 講	JR 運賃計算 (5.6 回目の復習・通過連絡運輸・連続運賃)	
	第 8 講	JR 運賃計算の特例 (特定都区市内発着・山手線発着)	
	第 9 講	JR 運賃計算 (7.8 回目の復習・特定区間・大都市近郊区間)	
	第 10 講	JR 割引運賃の計算	
	第 11 講	JR 料金の概要 (9.10 回目の復習・特急料金)	
	第 12 講	JR 料金 (グリーン・寝台)	
	第 13 講	JR 料金 (11.12 回目の復習・乗継割引)	
	第 14 講	JR 料金・(乗継割引) 運賃料金の払い戻し	
	第 15 講	団体の取扱い	
方法指導	テキストを中心に例題、練習問題を解きながら講義を進めていきます。小テストを適宜行うので欠席をすると不利になります。		
学習授業外	授業前の事前学習は、個々の認知度によっても違いますが、ある程度の地域名とその場所がわからないと授業内容が理解しにくくなりますので、時刻表の地図などを参照して、主な駅名や路線などを見ておいてください。事後学習は、授業で学んだ内容を整理して覚え、繰り返し問題を解くことが重要で必ず行う必要があります。		
成績評価方法	本試験 (筆記試験) 50%、平常点 (小テスト) 50% ただし、出席が 2/3 以上なければ評価の対象にはなりません。		
テキスト	『旅行業務取扱管理者シリーズ TEXT 3 国内旅行実務 I (運賃・料金)』(株)旅行綜研 2018 年 (テキストは、毎年変更されているため、昨年のもは不可)		
書籍参考	『JR 時刻表』(大型 2018 年 4 月号)		
事項特記	計算機能だけ (スマートフォンなどは不可) の計算機を各自、用意してください。授業試験時に必要です。		